

令和6年度三重県介護現場業務改善モデル事業所申込書

1 事業所の概要

法人名	
法人所在地	
事業所名	
事業所所在地	
事業所番号	
サービス種別	
職員数	
定員（利用者数）	
電話番号	
FAX 番号	
メールアドレス	
担当者 職・氏名	

2 現状の課題

生産性向上の観点から、現在抱えている課題、問題点等を記載してください。

3 課題解決

生産性向上の取組により、課題をどのように改善したいか記載してください。

4 介護ロボット・ICT機器導入予定

<p>今回の業務改善活動において介護ロボット・ICT機器を導入する予定があるか、下記1～4のいずれかの番号を記入してください。</p>		
No.		
<p>【施設の状況】</p> <p>1 これから初めて介護ロボット・ICT機器を導入したい。</p> <p>2 既に介護ロボット・ICT機器を導入しているが、今回の取組で追加導入したい。</p> <p>3 現在導入している介護ロボット・ICT機器をより有効的に活用したい。(今回は導入しない)</p> <p>4 介護ロボット・ICT機器を導入する予定はない。</p>		

5 業務改善の取組項目

<p>今回の取組が、厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」の業務改善項目のいずれに該当するか、下記1～7のいずれかの番号を記入してください。</p>		
No.		

No.	取組	取組によって得られる効果
1	職場環境の整備	5S の視点での安全な介護環境と働きやすい職場をつくる。
2	業務全体の流れの再構築	業務の明確化と役割分担の見直しにより、ムリ・ムダ・ムラ（3M）を削減して業務全体の流れを再構築する。
3	テクノロジーの活用	テクノロジーなどの活用により、職員の業務を見直し、身体的・心理的負担を軽減する。
4	手順書の作成	職員の経験値、知識を可視化し、サービスレベルを底上げする。
5	記録・報告様式の工夫	項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報の読み解きを容易にする。
6	情報共有の工夫	ICT 機器を用いて転記作業の削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグを解消する。
7	OJT の仕組みづくり	専門性を高め、リーダーを育成するため、教育内容の統一と教え方のトレーニングを実施する、教える仕組みをつくる。

6 本事業を実施していく際の管理・実施体制

モデル事業所の選定後、本事業の運営に当たって、どのような体制を予定しているかを記載してください。

7 目指す姿

業務改善の取組を通じて、将来的にどのような介護事業所を目指すかを記載してください。